

基本構想の改定について

目次

1	基本構想の改定のポイント（案）	-----	2
2	将来人口（案）	-----	3
3	将来就業人口（案）	-----	7

1 基本構想の改定のポイント（案）

○基本構想の改定のポイント（案）は、以下に示すとおりです。

第1章 総合計画策定の趣旨	改定のポイント（案）
第1節 総合計画策定の背景	• 後期5年計画を4年とし、期間を平成29年から平成37年度（令和7年度。以下令和と称する）までの9年間に変更
第2節 総合計画の位置付け	
第3節 総合計画の構成と期間	
第2章 時代背景と課題	
第1節 我が国を取り巻く時代背景	• 時代背景は、昨年度作成したメガトレンドを踏まえ、一部を更新 • 主要課題は、今後の検討を踏まえ一部を変更
第2節 本市における最重要課題	
第3節 本市において取り組むべき主要課題	
第3章 将来都市像	
第1節 将来都市像と基本理念	• <u>人口展望は、計画年度に合わせて令和8年から7年に変更。かつ、「柏崎市第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」を踏まえ、推計を見直し</u> • 土地利用構想のうち、地区別の土地利用方針は、検討中の「柏崎市立地適正化計画」や地区別の将来人口の推計結果を踏まえ、一部を変更
第2節 今後の人口展望	
第3節 土地利用構想	
第4章 分野別施策の基本方針	
第1節 3つの戦略的な視点	• 分野別施策の基本方針は、今後の検討を踏まえ一部を変更
第2節 分野別施策の基本方針	

○本日はこのうち、「第3章 第2節 今後の人口展望」について、詳細案を次ページ以降に示します。

○なお、今後の人口展望は、「将来人口」と「将来就業人口」から構成されます。

2 将来人口（案）

（1）推計方法

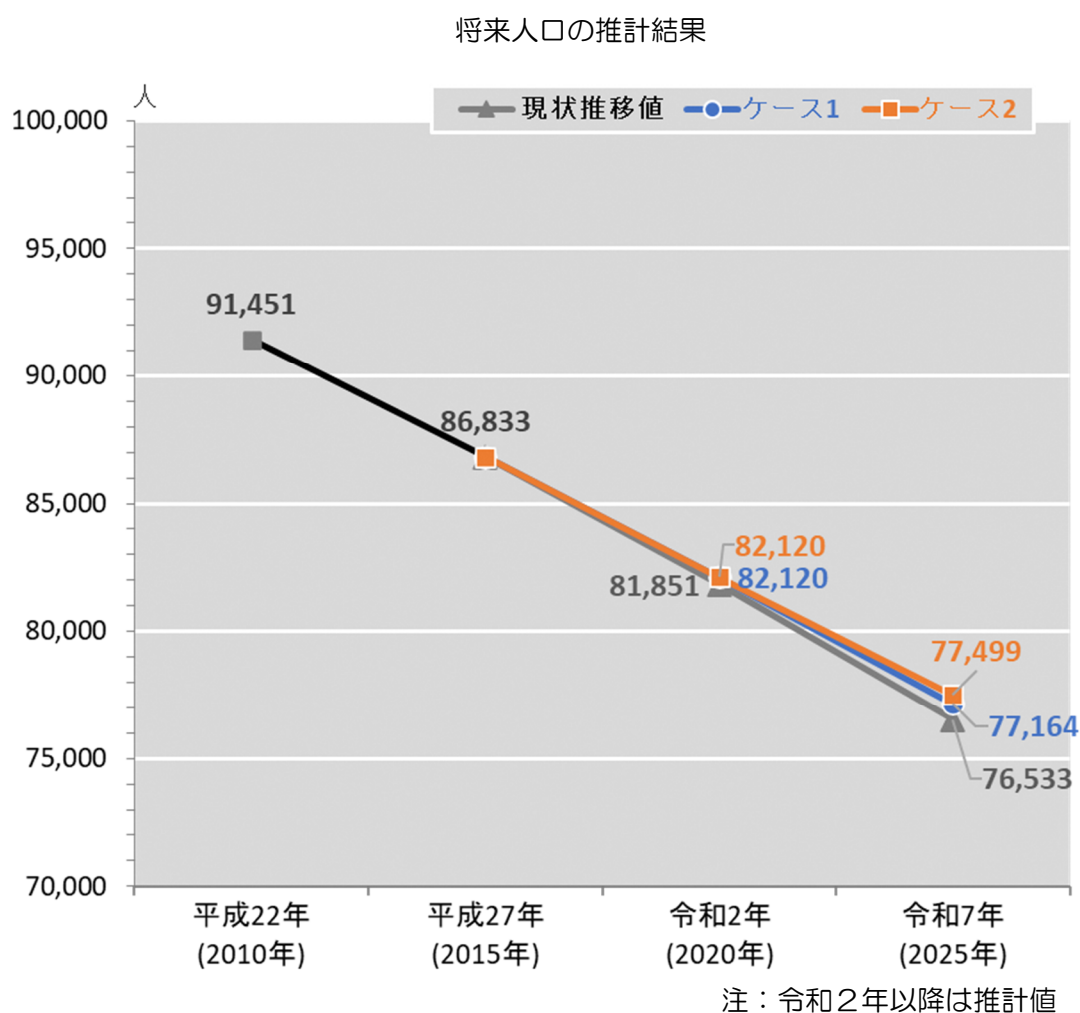
○「柏崎市第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づく、以下の3つとします。

- ①現状のまま：コーホート要因法（純移動率3回平均）
- ②ケース1：①に加え、合計特殊出生率が回復した場合
- ③ケース2：①に加え、合計特殊出生率と転入超過率が回復した場合

（2）推計結果

○以下のとおりです。

○基本構想の目標年である令和7年は、7.7万人を人口展望として設定します。

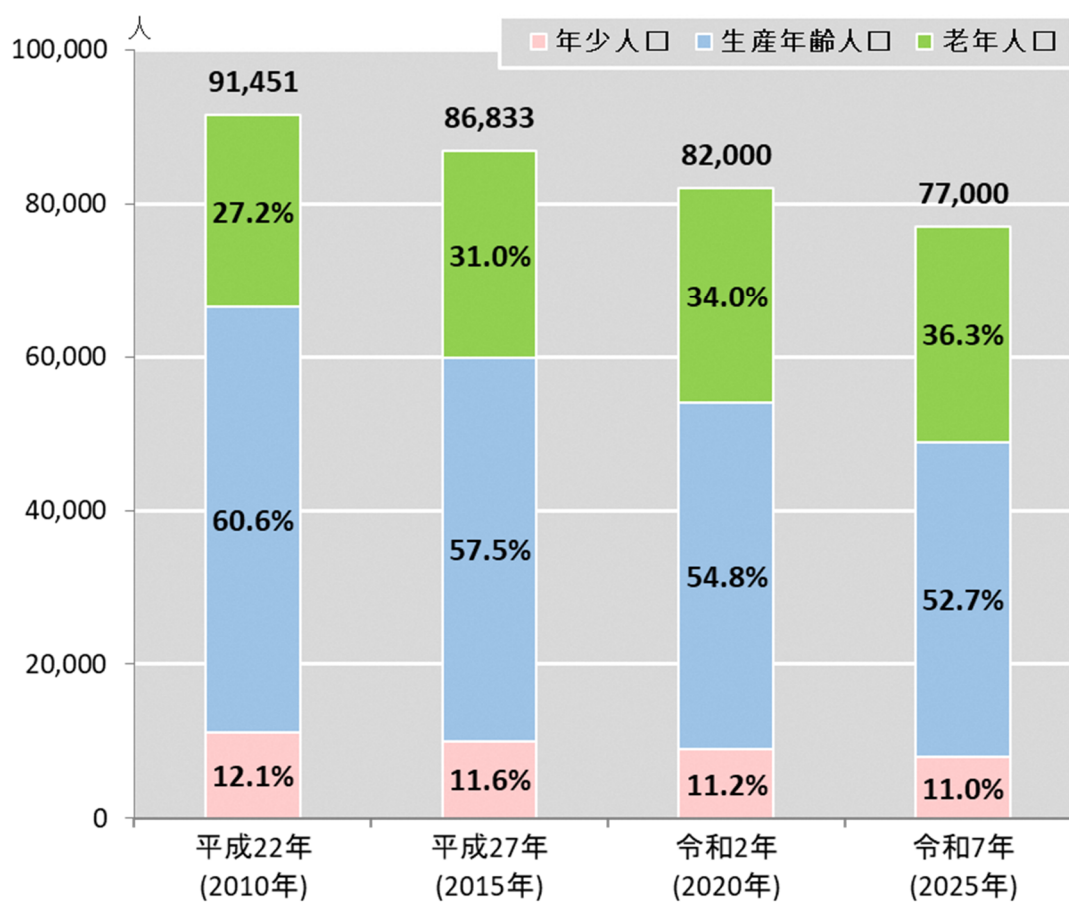


(3) 年齢別推計結果

○以下のとおりです。

○令和7年における、年少人口割合は11.0%、生産年齢人口割合は52.7%、老年人口割合は36.3%とします。

将来人口の年齢別推計結果



注：令和2年以降は推計値

将来人口に関する推計結果

現状のまま推移

和暦	西暦	人口総数	0～14歳	15～64歳	65歳以上	75歳以上	15歳以上	0～14歳	15～64歳	65歳以上	75歳以上	15歳以上
平成27	2015	86,833	10,050	49,896	26,887	14,247	76,783	11.6%	57.5%	31.0%	16.4%	88.4%
令和2	2020	81,851	8,923	45,006	27,922	14,560	72,928	10.9%	55.0%	34.1%	17.8%	89.1%
	3	2021	80,788	8,713	44,128	27,947	14,879	10.8%	54.6%	34.6%	18.4%	89.2%
	7	2025	76,533	7,872	40,621	28,040	16,144	10.3%	53.1%	36.6%	21.1%	89.7%
	8	2026	75,438	7,687	39,768	27,983	16,313	10.2%	52.7%	37.1%	21.6%	89.8%
	12	2030	71,060	6,941	36,360	27,759	16,990	9.8%	51.2%	39.1%	23.9%	90.2%
	17	2035	65,490	6,087	32,421	26,982	16,949	9.3%	49.5%	41.2%	25.9%	90.7%
	22	2040	59,709	5,419	27,891	26,399	16,358	9.1%	46.7%	44.2%	27.4%	90.9%
	27	2045	54,177	4,902	23,999	25,276	15,563	9.0%	44.3%	46.7%	28.7%	91.0%
	32	2050	48,899	4,455	20,907	23,537	15,327	9.1%	42.8%	48.1%	31.3%	90.9%
	37	2055	43,838	4,057	18,339	21,442	14,616	9.3%	41.8%	48.9%	33.3%	90.7%
	42	2060	39,055	3,643	16,996	18,416	13,378	9.3%	43.5%	47.2%	34.3%	90.7%
	47	2065	34,494	3,249	15,417	15,828	11,775	9.4%	44.7%	45.9%	34.1%	90.6%

合計特殊出生率が回復した場合（ケース1）

和暦	西暦	人口総数	0～14歳	15～64歳	65歳以上	75歳以上	15歳以上	0～14歳	15～64歳	65歳以上	75歳以上	15歳以上
平成27	2015	86,833	10,050	49,896	26,887	14,247	76,783	11.6%	57.5%	31.0%	16.4%	88.4%
令和2	2020	82,120	9,192	45,006	27,922	14,560	72,928	11.2%	54.8%	34.0%	17.7%	88.8%
	3	2021	81,129	9,054	44,128	27,947	14,879	11.2%	54.4%	34.4%	18.3%	88.8%
	7	2025	77,164	8,503	40,621	28,040	16,144	11.0%	52.6%	36.3%	20.9%	89.0%
	8	2026	76,137	8,386	39,768	27,983	16,313	11.0%	52.2%	36.8%	21.4%	89.0%
	12	2030	72,043	7,924	36,360	27,759	16,990	11.0%	50.5%	38.5%	23.6%	89.0%
	17	2035	66,870	7,209	32,679	26,982	16,949	10.8%	48.9%	40.3%	25.3%	89.2%
	22	2040	61,548	6,673	28,476	26,399	16,358	10.8%	46.3%	42.9%	26.6%	89.2%
	27	2045	56,525	6,398	24,851	25,276	15,563	11.3%	44.0%	44.7%	27.5%	88.7%
	32	2050	51,797	6,218	22,042	23,537	15,327	12.0%	42.6%	45.4%	29.6%	88.0%
	37	2055	47,267	5,993	19,832	21,442	14,616	12.7%	42.0%	45.4%	30.9%	87.3%
	42	2060	43,005	5,662	18,927	18,416	13,378	13.2%	44.0%	42.8%	31.1%	86.8%
	47	2065	38,959	5,302	17,829	15,828	11,775	13.6%	45.8%	40.6%	30.2%	86.4%

出生率と転入超過率が回復した場合（ケース2）

和暦	西暦	人口総数	0～14歳	15～64歳	65歳以上	75歳以上	15歳以上	0～14歳	15～64歳	65歳以上	75歳以上	15歳以上
平成27	2015	86,833	10,050	49,896	26,887	14,247	76,783	11.6%	57.5%	31.0%	16.4%	88.4%
令和2	2020	82,120	9,192	45,006	27,922	14,560	72,928	11.2%	54.8%	34.0%	17.7%	88.8%
	3	2021	81,196	9,061	44,188	27,947	14,879	11.2%	54.4%	34.4%	18.3%	88.8%
	7	2025	77,499	8,536	40,923	28,040	16,144	11.0%	52.8%	36.2%	20.8%	89.0%
	8	2026	76,612	8,441	40,188	27,983	16,313	11.0%	52.5%	36.5%	21.3%	89.0%
	12	2030	73,070	8,060	37,251	27,759	16,990	11.0%	51.0%	38.0%	23.3%	89.0%
	17	2035	68,921	7,555	34,384	26,982	16,949	11.0%	49.9%	39.1%	24.6%	89.0%
	22	2040	64,630	7,300	30,931	26,399	16,358	11.3%	47.9%	40.8%	25.3%	88.7%
	27	2045	60,710	7,343	28,091	25,276	15,563	12.1%	46.3%	41.6%	25.6%	87.9%
	32	2050	57,085	7,460	26,088	23,537	15,327	13.1%	45.7%	41.2%	26.8%	86.9%
	37	2055	53,603	7,454	24,684	21,465	14,616	13.9%	46.0%	40.0%	27.3%	86.1%
	42	2060	50,345	7,254	24,576	18,515	13,378	14.4%	48.8%	36.8%	26.6%	85.6%
	47	2065	47,275	6,980	24,029	16,266	11,796	14.8%	50.8%	34.4%	25.0%	85.2%

(4) 参考：前期基本計画との比較

○実数は、令和8年に着目すると後期案は前期にくらべ、総人口は約3,800人～8,300人（5%～10%）低くなります。

同様に、年少人口は約700人～1,500人（7%～15%）、生産年齢人口は約3,100人～6,800人（7%～14%）、老年人口は約20人（0%）、それぞれ低くなります。

令和7年の後期案と令和8年の前期をくらべると、老年人口を除き、令和7年の後期案が低くなっています。

○構成比は、令和8年に着目すると後期案は前期にくらべ、少子高齢化が進む結果となっています。

将来人口の比較

紫色の数値：前期基本計画

赤色の数値：後期基本計画案

実数（人）	平成27年 (2015年)	令和7年 (2025年)	令和8年 (2026年)
総人口	86,833	－ 77,164～77,499	79,947～84,916 76,137～76,612
年少人口	10,050	－ 8,503～8,536	9,059～9,927 8,386～8,441
生産年齢人口	49,896	－ 40,621～40,923	42,889～46,990 39,768～40,188
老年人口	26,887	－ 28,040	27,999 27,983
構成比（%）	平成27年 (2021年)	令和7年 (2025年)	令和8年 (2026年)
総人口	100.0	－ 100.0	100.0 100.0
年少人口	11.6	－ 11.02～11.01	11.3～11.7 11.01～11.02
生産年齢人口	57.5	－ 52.6～52.8	53.7～55.3 52.2～52.5
老年人口	31.0	－ 36.3～36.2	35.0～33.0 36.8～36.5

3 将来就業人口（案）

（1）推計方法

○人口フレーム結果に基づく15歳以上人口をベースとして就業者数を推計し、うち第1次と第2次産業就業者数を先に推計し、残りを第3次産業就業者数とします。

○以下の流れで行います。

①15歳以上人口：人口フレームの推計結果を踏まえ抽出（現状のまま、ケース1、ケース2）

②就業率：過去（昭和63～平成27年）のトレンドにより推計

③就業者数：①に②を乗じる

④第1次産業就業者数：過去（昭和63～平成27年）のトレンドにより推計

⑤第1次産業就業率：④を③で除する

⑥第2次産業就業者数：過去（昭和63～平成27年）のトレンドにより推計

⑦第2次産業就業率：⑥を③で除する

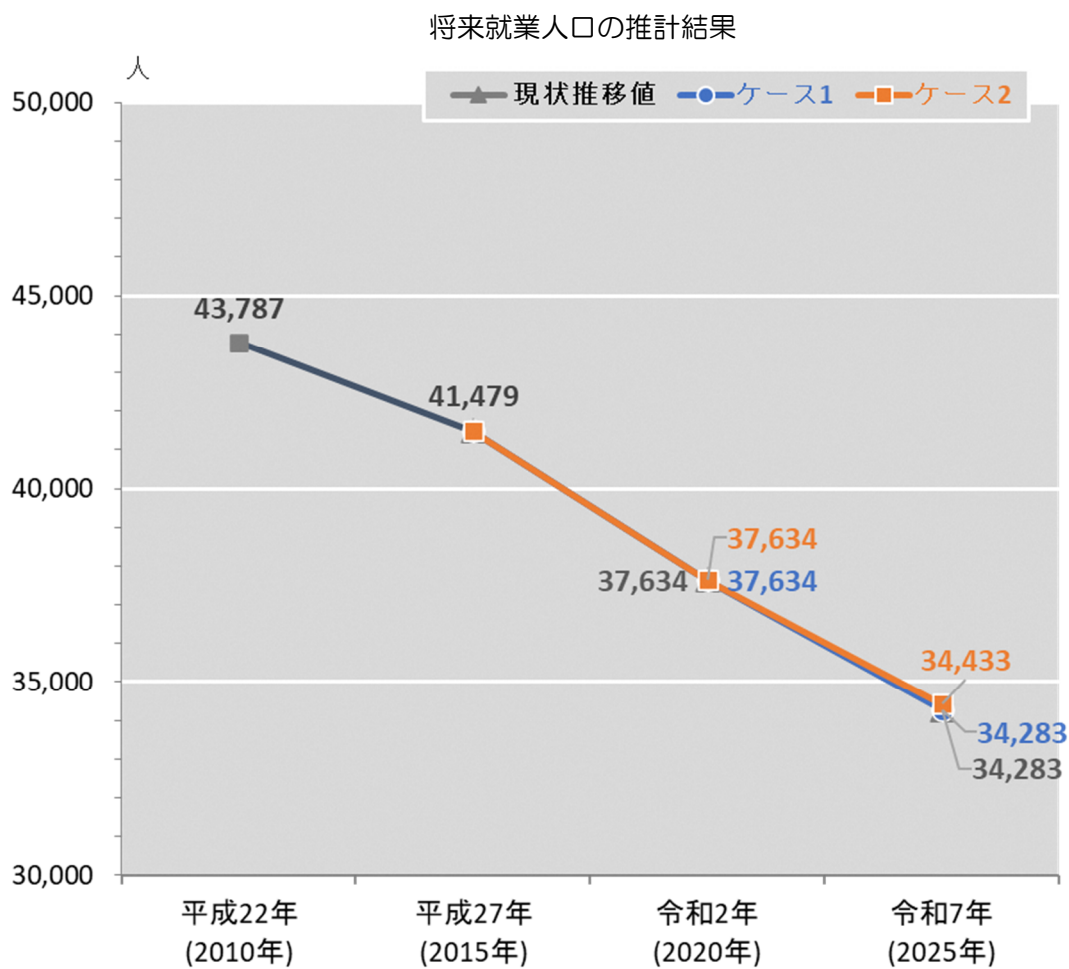
⑧第3次産業就業率：②から⑤と⑦を減じる

⑨第3次産業就業数：③から④と⑥を減じる

(2) 推計結果

○以下のとおりです。

○基本構想の目標年である令和7年は、34万人を見込むものとします。

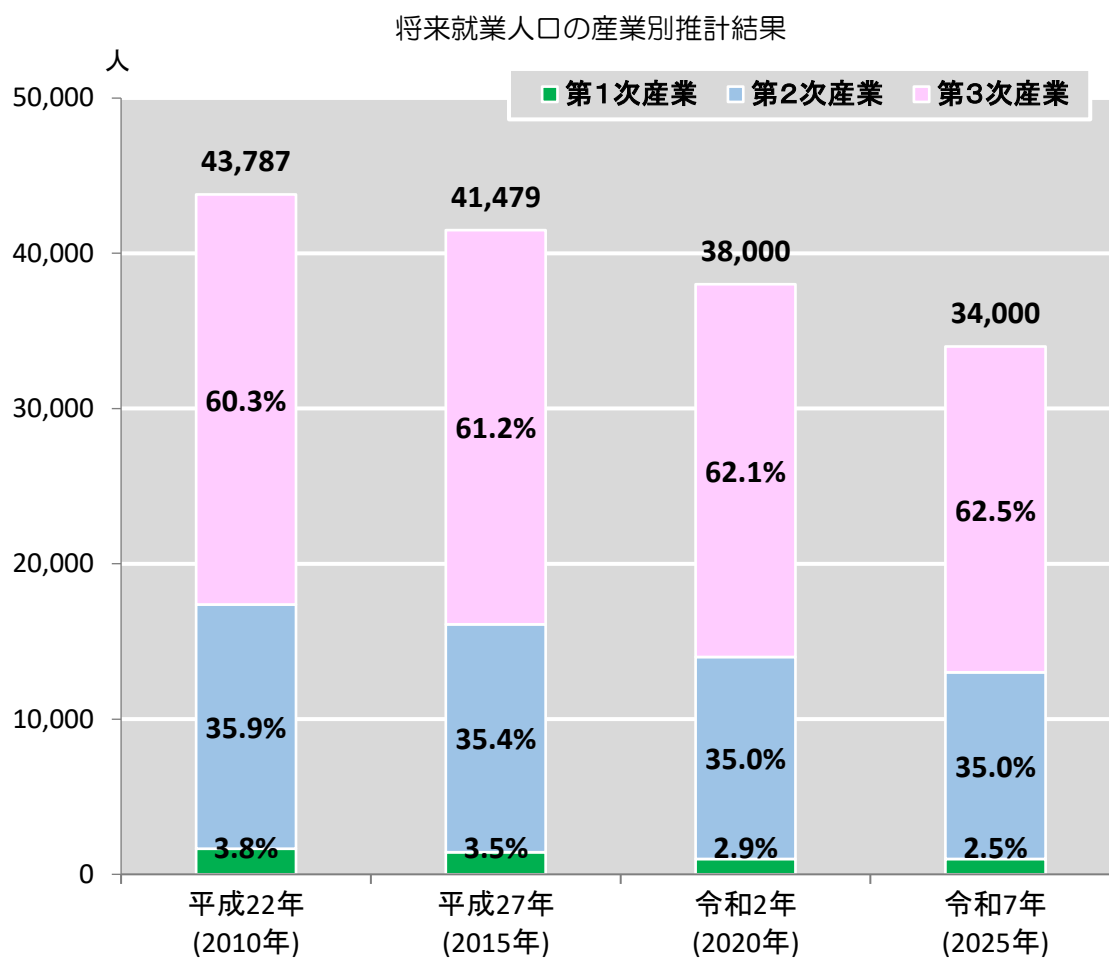


注：令和2年以降は推計値

(3) 産業別推計結果

○以下のとおりです。

○令和7年における、第一次産業人口割合は2.5%、第二次人口割合は35.0%、第三次人口割合は62.5%とします。



注：令和2年以降は推計値

将来就業人口に関する推計結果

現状のまま推移

	実績値							推計値			
	昭和60年 1985年	平成2年 1990年	平成7年 1995年	平成12年 2000年	平成17年 2005年	平成22年 2010年	平成27年 2015年	令和2年 2020年	令和3年 2021年	目標年 令和7年 2025年	令和8年 2026年
15歳以上人口	78,386	81,430	85,422	83,936	82,218	80,343	76,783	72,928	72,075	68,661	67,751
就業者数	50,803	51,313	53,264	48,258	47,014	43,787	41,479	37,634	36,949	34,283	33,606
第1次産業就業者数	6,547	4,847	4,596	2,836	2,875	1,662	1,438	1,110	1,054	857	814
第2次産業就業者数	22,515	22,522	22,455	18,887	17,116	15,729	14,673	13,169	12,925	11,992	11,770
第3次産業就業者数	21,741	23,944	26,213	26,535	27,023	26,396	25,368	23,355	22,970	21,434	21,022
就業率	64.81%	63.01%	62.35%	57.49%	57.18%	54.50%	54.02%	51.60%	51.27%	49.93%	49.60%
第1次産業割合	12.89%	9.45%	8.63%	5.88%	6.12%	3.80%	3.47%	2.95%	2.85%	2.50%	2.42%
第2次産業割合	44.32%	43.89%	42.16%	39.14%	36.41%	35.92%	35.37%	34.99%	34.98%	34.98%	35.02%
第3次産業割合	42.79%	46.66%	49.21%	54.99%	57.48%	60.28%	61.16%	62.06%	62.17%	62.52%	62.55%

合計特殊出生率が回復した場合（ケース1）

	実績値							推計値			
	昭和60年 1985年	平成2年 1990年	平成7年 1995年	平成12年 2000年	平成17年 2005年	平成22年 2010年	平成27年 2015年	令和2年 2020年	令和3年 2021年	目標年 令和7年 2025年	令和8年 2026年
15歳以上人口	78,386	81,430	85,422	83,936	82,218	80,343	76,783	72,928	72,075	68,661	67,751
就業者数	50,803	51,313	53,264	48,258	47,014	43,787	41,479	37,634	36,949	34,283	33,606
第1次産業就業者数	6,547	4,847	4,596	2,836	2,875	1,662	1,438	1,110	1,054	857	814
第2次産業就業者数	22,515	22,522	22,455	18,887	17,116	15,729	14,673	13,169	12,925	11,992	11,770
第3次産業就業者数	21,741	23,944	26,213	26,535	27,023	26,396	25,368	23,355	22,970	21,434	21,022
就業率	64.81%	63.01%	62.35%	57.49%	57.18%	54.50%	54.02%	51.60%	51.27%	49.93%	49.60%
第1次産業割合	12.89%	9.45%	8.63%	5.88%	6.12%	3.80%	3.47%	2.95%	2.85%	2.50%	2.42%
第2次産業割合	44.32%	43.89%	42.16%	39.14%	36.41%	35.92%	35.37%	34.99%	34.98%	34.98%	35.02%
第3次産業割合	42.79%	46.66%	49.21%	54.99%	57.48%	60.28%	61.16%	62.06%	62.17%	62.52%	62.55%

出生率と転入超過率が回復した場合（ケース2）

	実績値							推計値			
	昭和60年 1985年	平成2年 1990年	平成7年 1995年	平成12年 2000年	平成17年 2005年	平成22年 2010年	平成27年 2015年	令和2年 2020年	令和3年 2021年	目標年 令和7年 2025年	令和8年 2026年
15歳以上人口	78,386	81,430	85,422	83,936	82,218	80,343	76,783	72,928	72,135	68,963	68,171
就業者数	50,803	51,313	53,264	48,258	47,014	43,787	41,479	37,634	36,980	34,433	33,814
第1次産業就業者数	6,547	4,847	4,596	2,836	2,875	1,662	1,438	1,110	1,055	861	819
第2次産業就業者数	22,515	22,522	22,455	18,887	17,116	15,729	14,673	13,169	12,936	12,044	11,843
第3次産業就業者数	21,741	23,944	26,213	26,535	27,023	26,396	25,368	23,355	22,989	21,528	21,152
就業率	64.81%	63.01%	62.35%	57.49%	57.18%	54.50%	54.02%	51.60%	51.27%	49.93%	49.60%
第1次産業割合	12.89%	9.45%	8.63%	5.88%	6.12%	3.80%	3.47%	2.95%	2.85%	2.50%	2.42%
第2次産業割合	44.32%	43.89%	42.16%	39.14%	36.41%	35.92%	35.37%	34.99%	34.98%	34.98%	35.02%
第3次産業割合	42.79%	46.66%	49.21%	54.99%	57.48%	60.28%	61.16%	62.06%	62.17%	62.52%	62.55%

(4) 参考：前期基本計画との比較

○実数は、令和8年に着目すると後期案は前期に比べ、全就業人口は約1,100人～2,900人（3%～8%）低くなります。

同様に、1次は約50人～100人（6%～11%）、2次は約1,100人～1,800人（8%～13%）、それぞれ低くなります。3次は高い方で約80人（0%）高くなり、低い方で約1,000人（5%）低くなります。

令和7年の後期案と令和8年の前期を比べると、一次と二次が、令和7年の後期案が低くなっています。

○構成比は、令和8年に着目すると後期案は前期に比べ、三次が高くなっています。

将来就業人口の比較

紫色の数値：前期基本計画 赤色の数値：後期基本計画案

実数（人）	平成27年 (2015年)	令和7年 (2025年)	令和8年 (2026年)
全就業人口	41,479	－ 34,283～34,433	34,671～36,677 33,606～33,814
第一次産業	1,438	－ 857～861	867～917 814～819
第二次産業	14,673	－ 11,992～12,044	12,863～13,607 11,770～11,843
第三次産業	25,368	－ 21,434～21,528	20,941～22,153 21,022～21,152
構成比（%）	平成27年 (2021年)	令和7年 (2025年)	令和8年 (2026年)
全就業人口	100.0	－ 100.0	100.0 100.0
第一次産業	3.47	－ 2.50	2.5 2.42
第二次産業	35.37	－ 34.98	37.1 35.02
第三次産業	61.16	－ 62.52	60.4 62.55